

第 1 号議案

平成 2 4 年度事業報告

きょうと食育ネットワークの取組状況（平成24年度）

1 普及・啓発事業

（1）きょうと食育講演会の開催

○開催日：平成24年6月10日（日） 14:00～15:50

○場 所：京都府庁旧本館正庁

○テーマ：あすに伝えたい 京料理と食育

○講 師：(株)たん熊北店 代表取締役（NPO 法人日本料理アカデミー 副理事長）栗栖 正博 氏

○参加者：約110名（食育ネットワーク会員等約40名、一般募集約70名）

○アンケート結果：参考になった・概ね参考になった（96%）

（主な意見）

- ・小学校でも本物を知らせることで学ばせたいと感じました。日本料理アカデミーの方がどのように学校教育の中で関わっていただけるのかを考えてみたいと思います。（小学校教諭）
- ・大変素敵な講演会でした。食育・日本料理（和食）の大切さを再認識させられました。
- ・和食の裾野の広さと今後の展開に期待が持てました。和食を大いに広げていくことを期待します。



（2）食育講座の開催

○年間を通じ、各会員団体において様々な講座を開催。

実施日	実施主体	講座名	場所	参加人数
H24.6～H25.2	京都府食生活改善推進員連絡協議会	「おやこ食育教室」	府内の会場	親子で642人
H24.6.17	京都府米食推進協会	食文化講座	京都市 保田圃場	35名
H24.7.10	乙訓地域生活研究グループ連絡協議会	男性のための～郷土料理講習会～	長岡京市中央公民館調理室	11名
H24.7.18	乙訓地域生活研究グループ連絡協議会	小学校での食育活動	長岡京市立第十小学校	4年生 34名

実施日	実施主体	講座名	場所	参加人数
H24.8.18 H24.11.10 H24.12.1,2	京都府農協青壮年組織協議会 越畑・樺原地区都市農村交流促進協議会	農業体験教室	京都市右京区越畑 パルスプラザ	42名
H24.9.30	京都府米食推進協会	学習会	キャンパスプラザ	65名
H24.10.10	京都府米食推進協会	食文化講座	大和学園キャリ エール	40名
H24.10.20	京都府米食推進協会	食文化講座	京田辺市 保田圃場	33名
H24.10.20, H24.12.1	京都府立大学大学院生命環境科学研究科食 事科学研究室	スマートな男性は料理がうま い！	京都府立大学（5号 館1階、給食経営管 理実習食堂）	22名
H24.10.23	乙訓地域生活研究グループ連絡協議会	小学校での食育活動	長岡京市立第七小 学校	3,4年生 35名
H24.11.27	乙訓地域生活研究グループ連絡協議会	小学校での食育活動	長岡京市立第六小 学校	3年生 60名
H24.12.16	京都府立大学大学院生命環境科学研究科食 事科学研究室	ひらめき☆ときめきサイエンス	京都府立大学（5号 館1階、給食経営管 理実習食堂）	29名 （小中学生17 名、保護者12 名）
H24.6.1,6,15 H24.7.10,7,24 H24.9.5,9,19 H24.11.8,11,22 H.25.2.12,2,26 （※同月の2日間 で1クール）	京都府歯科衛生士会	南おいしく「かむかむ」教室	ヘルスピア21	8名（各日）
H24.12.8	<主催> 京都府協同組合連絡協議会 <協力> （社）京都府茶業会議所 JA京都中央会 京都生活協同組合 京都府生活協同組合連合会	国際協同組合年記念事業 <食育体験企画>	宇治茶会館	35名
H25.2.10	京都府栄養士会	いきいき健康フェア	京エコロジーセン ター	20名
H25.2.25,26	乙訓地域生活研究グループ連絡協議会	小学校での食育活動	長岡京市立第九小 学校	4年生 68名（各 日34名）
H25.3.2	京都府 （社）京都府食品産業協会 京都生活協同組合 京都府生活協同組合連合会	親子体験食育教室	京の食文化ミュー ジウム あじわい 館	
H25.3.2	京都府 （社）京都府食品産業協会 京都生活協同組合 京都府生活協同組合連合会	親子体験食育教室	京の食文化ミュー ジウム あじわい 館	
H25.3.5	京都府米食推進協会	食文化講座	京都市 保田圃場	41名
H25.3.9	京都府米食推進協会	食文化講座	京都市 保田圃場	50名

(3) きょうと食育強化月間(11月)

○「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして取組を推進

(農林水産フェスティバル、きょうと食育キャンペーン、府庁ロビー等での啓発展示 など)



農林水産フェスティバル



食育キャンペーン



府庁ロビー展示

(4) イベント出展等による啓発

■京都こだわりマルシェ (H24.6.10)

協力会員：京都府栄養士会、京都府食生活改善推進員連絡協議会 ほか

内 容：食生活診断、食育コーナー(食事バランスガイド)



■京都府農林水産フェスティバル (H24.12.1~2) (※例年11月に開催だが、H24は12月開催となりました。)

協力会員：京都府食生活改善推進員連絡協議会

内 容：食育コーナー



■スーパーでの食育啓発事業

(アル・プラザ醍醐：H24.9.22、H25.1.19／イオンモール京都五条：H24.10.20、H25.2.16)

協力会員：京都府栄養士会、京のふるさと産品協会、全農京都

協力サポート企業：(株)平和堂、花王(株)

内 容：食生活診断、血液サラサラチェック、食育コーナー（食育クイズ・豆つまみなど）
延べ 669 人参加



(5) 食のスクラップコンクール実施

■事業内容

- 趣 旨 未来を担う小学生及び中学生が、作品製作を通じ、「食」に関する様々な事項等に興味を持ち、考えることにより、「食」への関心と理解を深めることを目的とする。
- 主 催 京都府、きょうと食育ネットワーク
- 後 援 京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府市長会、京都府町村会、(公社)京都府栄養士会、京都府農業協同組合中央会、京都新聞社
- 協 賛 「きょうとの食育」サポート企業（大阪ガス・花王・カゴメ・平和堂・明治）
- 応募資格 京都府内に居住又は通学している小学生・中学生
- 作成方法 ①「食」に関する記事や資料を10点以上スクラップ
② 感想文又は感想画を記載

■事業期間（場所）

- 募 集 期 間 平成 24 年 7 月 2 日～9 月 14 日
- 審 査 委 員 会 平成 24 年 10 月 15 日（京都府庁内会議室）
- 表 彰 式 平成 24 年 11 月 10 日（大阪ガスディリパ京都 パルホール）
- 入賞作品展示 平成 24 年 11 月 10 日（同上）

■事業結果

○応募作品数 305点（小学生60点、中学生245点）

○入賞者 優秀賞8点、優良賞5点、佳作6点 計19点）

		氏名	学校名	学年	
優秀賞	京都府知事賞	小学生の部	すぎもと そのこ 杉本 苑子	京都市立洛中小学校	小6
		中学生の部	ひらた なるゆ 平田 愛結	相楽東部広域連立立笠置中学校	中3
	京都市長賞	小学生の部	むらた まお 村田 真緒	立命館小学校	小3
		中学生の部	やまもと あき 山本 瑛	京都教育大学附属桃山中学校	中3
	京都府教育長賞	小学生の部	にしやす かいと 西保 魁人	京丹波町立瑞穂小学校	小5
		中学生の部	はた ななみ 畑 菜々美	京都教育大学附属桃山中学校	中3
	京都市教育長賞	小学生の部	おおぬま ころろ 大沼 ころろ	京都市立新町小学校	小2
		中学生の部	おおみち あやか 大道 彩香	京都市立加茂川中学校	中3
優良賞	京都府市長会会長賞	おかもと みなみ 岡本 美波	福知山市立南陵中学校	中1	
	京都府町村会会長賞	かわきた さやか 川北 菜也香	相楽東部広域連立立笠置中学校	中3	
	京都府栄養士会会長賞	こいけ ともか 小池 朋佳	京都教育大学附属桃山中学校	中2	
	京都府農業協同組合中央会会長賞	やすだ みさき 安田 美咲	京都光華中学校	中2	
	京都新聞社賞	おおが たつや 大賀 達矢	長岡京市立長法寺小学校	小4	
佳作		にいくら けんや 新鞍 健也	京都市立洛中小学校	小6	
		はまだ ちもか 濱田 百佳	京都市立洛中小学校	小6	
		だいごろう たつき 大郷 達生	京都市立大塚小学校	小6	
		あかぎ ことね 赤木 琴音	京都市立久世中学校	中1	
		しばた いっせい 芝田 一誠	京都学園中学校	中1	
		とみい だいき 冨井 大樹	京都教育大学附属桃山中学校	中3	

○事業の効果

- 作品制作を通じて、小中学生の食に関する理解が深まった。
- 世界の食糧問題やうなぎの価格高騰といった「食の経済」に関するもの、「食の安全」、「地域の農業」に関するものなど多岐にわたるテーマ設定
- 感想を絵で描いたもの、記事に関係するデータを調べたもの、実際に体験した様子を写真に撮ったものなど、工夫された作品
- 小学2年生から中学3年生まで、幅広い年齢層からの応募

入賞作品（優秀賞）

京都府知事賞



小学生の部

「地元の味でいこう」
京都市立洛中小学校 6年
杉本 苑子（すぎもと そのこ）



中学生の部

「安全ゆえの発展・変化」
相楽東部広域連立笠置中学校 3年
平田 愛結（ひらた なるゆ）

京都市長賞



小学生の部

「日本人とうなぎ」
立命館小学校 3年
村田 真緒（むらた まお）



中学生の部

「最近の食」
京都教育大学附属桃山中学校 3年
山本 瑛（やまもと あき）

京都府教育長賞



小学生の部

「丹波の食のスクラップ」
京丹波町立瑞穂小学校 5年
西保 魁人（にしやす かいと）



中学生の部

「生産者から見た『食』」
京都教育大学附属桃山中学校 3年
畑 菜々美（はた ななみ）

京都市教育長賞



小学生の部

「食についてのスクラップ」
京都市立新町小学校 2年
大沼 ころこ（おおぬま ころこ）



中学生の部

「切り離せない食」
京都市立加茂川中学校 3年
大道 彩香（おおみち あやか）

入賞作品（優良賞）

京都市市長会会長賞



「京の食について」
福知山市立南陵中学校 1年
岡本 美波（おかもと みなみ）

京都市町村会会長賞



「日本の食文化」
相楽東部広域連合立笠置中学校 3年
川北 菜也香（かわきた さやか）

京都府栄養士会会長賞



「わたしたちと食」
京都教育大学付属桃山中学校 2年
小池 朋佳（こいけ ともか）

京都府農業協同組合中央会会長賞



「京の産物」
京都光華中学校 2年
安田 美咲（やすだ みさき）

京都新聞社賞



「食」
長岡京市立長法寺小学校 4年
大賀 達矢（おおが たつや）

表彰式・作品展示



賞状授与



記念撮影



作品展示

2 和食の世界無形文化遺産登録推進活動との関連事業

和食の世界無形文化遺産登録を目指し、農林水産省が平成 24 年 3 月にユネスコに登録申請書を提出。京都府では、登録に向けて、健康にも良い日本型食生活の代表である「和食」の魅力をより多くの府民に伝え、受け継いでいくことを目的に下記のイベントを開催。

(※講演等の詳細は、冊子「きょうの食育」を参照のこと。)

(1)「食育シンポジウム」の開催

京料理の基本である「だし」をテーマに開催。農林水産省から和食の無形文化遺産登録の経緯について報告いただくとともに、「だし」のうま味についての講演や、「だしを使った食育」の事例報告、パネルディスカッション等を行った。

「今まで参加したイベントで最も良かった。」「オール京都、行政と教育現場、日本料理の担い手の連携に敬意を表する。和食の精神・だしを大切にしたいと思う。」などの声があった。

○開催日：平成 24 年 8 月 4 日（土） 13:00～16:00

○主催：きょうと食育ネットワーク、京都府、大阪ガス(株)

○場所：京都リサーチパーク1号館 サイエンスホール

○参加者：約 200 名（栄養士、栄養教諭など学校関係者や食育実践者、一般府民）

○内容

■ <伝統的な和食の文化を世界無形文化遺産に>その取組経過について

【報告者】農林水産省大臣官房政策課長 大澤 誠 氏

○和食の無形文化遺産登録申請に係る農水省の取組経過についてご報告いただいた。

■（基調講演）「おいしさを科学する」だしの重要性と未来

【報告者】京都大学大学院教授 伏木 亨 氏

○「だし」のうま味を感じる能力は後天的なものであり、だしを美味しいと感じるためには、小さい頃からだしの匂いが良い匂いであることをおしえることが必要であることなど、科学的な知見から、だしを通じた食育の必要性をご講演いただいた。



■ 食育の取組事例報告

○「だしを使った小学生の食育」

(山ばな平八茶屋/日本料理アカデミー 園部 晋吾 氏)

○「キッチン・ラボ 五感を刺激する幼児料理教室」

(睦美幼稚園 理事長 井上 雅道 氏)

○「1日の食事の計画を立てよう。和朝食の調理 一汁三菜を味わう。」

(南丹市立園部中学校 教諭 木村 やよい 氏)

○「『本物のダシを味わうことは教養である』事業の取組」

(京都大学大学院農学研究科 特定助教 山崎 英恵 氏)



- (パネルディスカッション) 『だし』をテーマにした食育活動の意義について
 【コーディネーター】京都大学大学院教授 伏木 亨 氏
 【パネラー】事例報告者4名



■ 主催者及び講演者所属団体の食育取組に関する展示

○展示内容：各団体の食育の取組内容について

(大阪ガス、京都府、日本料理アカデミー、睦美幼稚園、園部中学校、京都大学)



(2)「きょうと食育フォーラム」の開催

「体験型の食育」をテーマに開催。「だしを使った食育の模擬授業」や「お弁当の日」に関する基調講演、事例報告など、子どもたちが五感を使って食について学ぶことができる優れた取組について紹介。出席者アンケートでは、「この会に参加して、また食育を「がんばろう！」と意欲が湧いた。子どもたちに伝達していけるよう、今日から頑張ります。」「お弁当の日の存在を初めて知り、とても素敵な取組だと感じた。」などの声が見られた。

○開催日：平成24年11月10日（土） 13:00～16:30

○主催：きょうと食育ネットワーク、京都府、元気な命をつなぐ会

○場所：大阪ガスディリパ京都 パルホール

○参加者：約150名（栄養士、栄養教諭など学校関係者や食育実践者、一般府民）

○内容：

■ 京都食のスクラップコンクール表彰式

○京都食のスクラップコンクールの受賞者17名に表彰状と記念品授与



■ 「だしを使った食育の模擬授業」

【報告者】懐石近又 主人 鶴飼 治二 氏

○鶴飼氏が実践されている「だしを使った」食育の授業について、実演を交えながら紹介。

○食育で大事なことは、「子どもたちが興味を持って飽きない五感を使った体験であること」と「すべての大人が手本となること」。

○「食育の行き着く所は「食卓」。家庭で年に4回でもいいので、旬の食材を使って、みんなでご飯づくり大会をしてください。その過程で家族の愛情・絆が生まれ、子どもたちはマナーや教養を学ぶことができます。」

○参加者は、昆布だしと合わせだし（昆布・かつお節）の2種類のだしを試飲し、本物のだしの「うま味」を五感で味わい、会場からは、「美味しい！」との声が起こった。



■ （基調講演）イナマス方式による「お弁当の日」

【報告者】福岡市立愛宕小学校 教諭 稲益 義宏 氏

○給食を止めることが難しいことから、当初、「お弁当の日の実施は無理。」と考えていた。しかし、遠足など給食の無い日に実施するなど、なんとかやる方法を見いだして実践する中で、子どもたちのたくさんの成長に立ち会うことができた。

○食育をする上で大事なことは「子どもたちが20歳の時にどんな食卓を囲んでいるか。」

「私たちは子どもたちに持たせるお土産を今、一生懸命作って持たせています。20歳になった時、子どもたちがそのお土産を開けてくれるか、開けたときどう感じてくれるかを思い浮かべながら、これからも食育の活動に取り組んでいきたい。」



■ お弁当の日の取組事例報告

- ・京都市七条第三小学校 校長 安田 曜 氏
- ・亀岡市立高田中学校 養護教諭 植田 三喜子 氏

○京都府内の「お弁当の日」実践校のうち、2校の先生から、それぞれの学校における取組事例を報告



3 きょうと地産地消・食育応援レシピの作成

昨年度、きょうと食育ネットワークのプロジェクトチームによるテーマごとの活動として、京都府産農林水産物の消費拡大と京都の「食」を次世代に伝承することを目的に、「きょうと地産地消・食育応援レシピ」「店頭POP」及び「料理レシピ集」を作成。

今年度は、水産物を活用した6品分のレシピと水産物の旬についての情報等を追加した。

- 季節ごとに全58品のレシピを整理。
- 3月中旬から府ホームページで公開。
- スーパー等で店頭ポップとして活用してもらえようデータを管理。

店頭POPイメージ



ホームページ掲載イメージ



4 情報の収集及び情報提供

- ◆ネットワーク用HPに、会員からのお知らせ等を掲載
京都府発行のメルマガ（隔週発行）にネットワークからの情報を掲載
- ◆会員の食育支援活動情報を更新し、HPで広く提供
- ◆「きょうとの食育」サポート企業の募集
（現在：6企業（大阪ガス、花王、カゴメ、不二家商事、平和堂、明治））

5 食育事例の紹介及び取組の拡大

- ◆「平成24年度きょうと食育事例集」（46事例）、ネットワークホームページに掲載

6 総会等の開催

（1）通常総会

- ◆日時 平成24年6月10日（日）13時～
- ◆場所 京都府庁 旧本館正庁
- ◆内容 議案の審議（事業報告、役員改選、事業計画）

（2）幹事会

- ◆平成25年3月8日（金）
 - 平成24年度取組について
 - 平成25年度事業計画について
 - 平成25年度通常総会の開催について
 - きょうと×きょうと料理サミットの開催について
 - 平成24年度京都府食育推進行動計画の実施状況について